

アスベスト被害の根絶をめざす 京都の会ニュース

2025 年 10 月 10 日・第 16 号
アスベスト京都の会 発行
事務局:TEL075(662)5321
(京建労本部気付)

あらゆる職種・地域の 石綿被害救済・根絶めざそう ー第 12 回総会ひらくー

アスベスト被害の根絶をめざす京都の会は、10 月 7 日にラポール京都と ZOOM で開催し、19 人が参加しました。

石原一彦会長（立命館大学政策科学部教授）は、開会あいさつで『あやまれ！つぐなえ！なくせ！アスベスト被害』と取り組んできた建設アスベスト訴訟に沿っていえば、「あやまれ」「つぐなえ」の部分は、大型訴訟の和解など展望が開けてきたが、「なくせ」の部分が大きな課題。石綿対策でかさむ改修・解体費用を捻出するのに、元請業者や施主も苦労している。今後、アスベスト京都の会として京都府・市要請行動も計画しているが、行政が先頭に立ってアスベスト被害をなくしていく必要がある」と述べられました。

続いて、清水謙一さん（建設アスベスト訴訟全国連絡会事務局長）と伊藤泰司さん（新生大阪アスベスト対策センター幹事）からの講演、伊東事務局長からの議案提案が行われたのち、参加者から報告・討論が活発に交わされました。議案、決算・予算、次期役員含めてすべての議案が採択されました。

■ 講演① 「建設アスベスト訴訟の到達・展望」 清水謙一さん 要旨 全ての被害者救済と建設石綿給付金法へ更なる前進を

8 月 7 日～8 日にかけて、建設アスベスト東京 1 陣・2 陣訴訟、同大阪 2 陣・3 陣訴訟で、合計 400 名を超える原告と建材メーカーとの間で和解が成立。全国で闘う 1,200 名を超える原告の 3 分の 1 での和解成立という画期的な成果となった。一方で、屋外職種や解体工は救済されない・早すぎる違法期間の終期といった課題を残している。長期に及ぶ訴訟闘争は被害者に苦痛を強いるものであり、早期救済・損害の公平な分担を考えれば、救済制度の改正が必要。来年の通常国会に給付金法改正法案が提出できるよう、運動を強めていく。

アスベスト被害の根絶をめざす京都の会 第 12 回定期総会

10月7日(大)



石原会長によるあいさつで開会



■ 講演②「日本の石綿規制のゆがみをただす闘い」 伊藤泰司さん 要旨

今年9月に韓国を訪問し、同国で進む「2027年までに学校建築物からアスベストを全部撤去する」運動や、石綿スレートを推進してきた過去の政策の誤りの反省から創設された補助金制度、アスベスト問題を統一的に規制する石綿安全監理法などを学習してきた。韓国では、「アスベストをなくす」「被害をなくす」目的にそって行政が行われているが、ひるがえって、日本では、大手の屋根材・外装材メーカーに忖度したかのような判決で被害がなくなっていない。アスベスト被害をなくすたたかいは、この歪みを正す闘いである。



報告や総会で出された意見等

■ 芝井さん（京都職対連）

中皮腫を発症した元ユニチカ労働者のKさんの訴訟闘争を支援。国との間ではすでに和解が成立している。石綿対策をとってこなかったユニチカとの訴訟では、数回の期日を経て、この間の進行協議で和解の話も出てきている。Kさん本人は訴訟闘争を通じて、元同僚の被害の掘り起こしやユニチカからの謝罪・元従業員への健康管理対策を実現したいという思いがある。メディアの報道などもあり、元同僚からすでも数名の相談があるが、引き続き、本人の思いが果たせるように、運動を進めていきたい。

■ 宮村さん（京都民医連）

この間なかなか開催できていないものの、各院所の担当者を招集して「アスベスト対策委員会」開催に向けて努力。京都市城南診療所が石綿健康管理手帳認定医療機関として奮闘している他、加盟事業所では「府民向けリーフ」を健診受診者や外来患者に手にしてもらえよう工夫している。

■ 新田さん（自治労連、京都職対連）

上記Kさんの「支援する会」として、伊藤泰司さんを招いて学習会を開催。あらためて、アスベスト問題が地域住民にとっての問題であると参加者には受け止めてもらった。あらためて「府民向けリーフ」を活用した学習会を進めていく必要。

■ 長さん（京建労）

建設アスベスト京都2陣訴訟は和解協議が難航しており、10月30日に予定されていた判決日が延期となった。ご協力いただいた公正判決要請署名5,589筆を先日大阪高裁に提出。アスベスト問題解決に向けて取り組んでいる「地方議会意見書採択運動」は、27自治体中23自治体で採択され、現在は城陽市議会での採択に向けて模索。

<2025年度役員体制>（敬称略）

- ◇ 会長：石原一彦（立命館大学政策科学部教授）
- ◇ 副会長：平山幸雄（京建労委員長）／新田昌之（京都職対連会長）／福山和人（自由法曹団）／梶川憲（京都総評議長）
- ◇ 事務局長：伊東純平（京建労常駐執行委員）
- ◇ 事務局：京都総評・京都職対連・いの健京都センター・京都民医連・京建労より
- ◇ 会計監査：松原秀樹（京建労書記次長）